

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	延長保育促進事業				シート番号	014-099
担当部署名	子ども青少年	局	子育て支援	部	幼保推進	課 評価責任者(課長名)
						長尾

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	1	子育て世帯への支援と負担の軽減	無
	2	事業開始年度	平成 10 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	少子化対策基本法第11条第1項			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	保護者の就労形態の多様化、長時間の通勤等に伴う保育時間の延長に対する需要に対応するため、国において昭和56年度から通常の保育時間を超えて実施する延長保育制度が開始された。市では、平成10年度から補助事業として実施している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他 (民間認定こども園・保育所)			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	民間の認定こども園・保育所を利用する子ども及びその保護者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	民間認定こども園・保育所入所児童の保護者の仕事と子育ての両立支援及び児童福祉の増進を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	直接保護者と施設との間で契約を締結のうえ、施設は延長保育を実施し、利用者は利用料を支払う。市は、施設から実績報告を受けたうえで、その内容に応じて施設に対し補助金を交付する。 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
10	直接実施以外の主な支出先	民間認定こども園・保育所				

Ⅲ. 投入量

事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	64,489	48,953	59,031	48,941	59,711	52,968	62,080	
	主な事業費内訳	負担金、補助及び交付金	千円	64,489	48,953	59,031	48,941	59,711	52,968	62,080
			千円	-	-	-	-	-	-	-
			千円	-	-	-	-	-	-	-
			千円	-	-	-	-	-	-	-
	財源内訳	国・府支出金	千円	42,282	32,038	38,792	32,627	39,216	29,618	40,622
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	-	-	-	-	-	-	-
		市債	千円	-	-	-	-	-	-	-
		その他()	千円	-	-	-	-	-	-	-
		一般財源	千円	22,207	16,915	20,239	16,314	20,495	23,350	21,458
	12	人件費 (b)	千円	2,460	2,460	2,460	2,460	2,430	2,430	2,460
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	66,949	51,413	61,491	51,401	62,141	55,398	64,540	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名 延長保育促進事業	シート番号 014-099
----------------	---------------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	基本保育時間の11時間を超えて、保護者の保育ニーズに柔軟に対応することにより、仕事と子育ての両立支援に貢献できている。						
		指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		15 延べ利用児童数	人	目標値	67,000	67,000	67,000	67,000
				実績値	52,062	51,864	55,520	
				達成率	78%	77%	83%	
	評価			少し悪い	少し悪い	普通		
	算出方法・設定根拠など		各年度の民間認定こども園・保育所における延べ利用児童数					
	16	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		目標値	-	-	-	-		
		実績値	-	-	-	-		
達成率		-	-	-	-			
評価		-	-	-	-			

事業の効率性

区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	① 延べ利用児童数	人	52,062	51,864	55,520
	② 上記①にかかる年間経費	千円	51,413	51,401	55,398
	③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	988	991	998
備考(算出についての説明等)					
区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①		-	-	-
	② 上記①にかかる年間経費	千円	-	-	-
	③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
備考(算出についての説明等)					

業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	
19	延べ利用人数や補助対象施設数が極端に上下することなく安定していることから、施設に対して十分な周知ができていることがわかる。新規園の開設に伴い、年々補助対象施設数も増加していることから、延べ利用人数の緩やかな増加が期待できる。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	延長保育促進事業	シート番号	014-099
-------	----------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 延べ利用者数（年間5万人以上）の中で、事業を廃止した場合、施設での延長保育運営の維持体制に影響を及ぼし、市民の保育ニーズに応えられない。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 上記と同じ。本事業はその都度発生する延長保育のニーズに応える事業であり、休止(延期)になじまない。	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 事業手法は一定国が基準を定めているため。また、事業目的から事業規模を縮減することはできない。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 本事業は施設の運営に必要な経費の一部を補助するものであるため、園内での3密回避や活動変容にまで影響を及ぼすものではない。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明	本事業は民間実施であり、すでに公民連携事業である。また、手法が限定されているため、左記の視点による改善は難しい。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見	就労、育児疲れによる児童虐待防止、子育て不安の軽減に寄与することが目的であるため現状を継続しての実施が必要である。国の基準額及び他政令市の状況を勘案しつつ、補助内容に沿った円滑な運用を行う。		